

6月～8月の支出(図書、備品、慶弔、飲食除く)

95,877円

情報公開の第一歩 政治資金を見えるようにします。

印刷代(月刊武松印刷代)	17,715円
交通費(駐車場、燃料代、高速代)	16,641円
通信費(携帯電話代、折込代)	61,521円
支出計 16/6/1～16/8/31	95,877円
寄付 アキヤマさん、Yさん	19,000円

市政を考える 月刊武松

発行日
16/9/1

第160号

16100部発行

たけまつ ただし

頒布責任者：武松 忠(市議会議員)
武松政策研究会

合併・中核市・連携!?

事実上の任意合併協議会を10月に設置!?

■苦渋の決断

議長に、市が設置しようとしている(仮称)県西地域の中心市のあり方に関する2市協議会(以下2市協議会)に議会からの参加を要請されていました。私は、小田原市民の合併への機運が全く無い中で、**事実上の任意合併協議会に参加することはできない**と考え、しばらく保留にしていたところ、各方面からの要請があり、また市民への説明責任を果たす為にも具体的に数字を積み上げる必要もあることから、2市協議会への参加を認めました。

議会が、参加するからには、平成の大合併時の国県の手厚い補助政策や法律の現在の状態、平成の大合併後の合併市の状況や新たな連携中枢都市圏の取組など事前に共通認識をしておく必要があることから、市議会にこの件に関する調査特別委員会を設置することを決めました。

■市議会に県西地域の中心市のあり方に関する調査特別委員会を設置

人口減少や少子高齢化が進む中、安定的な行政サービスを提供するため、行政では2市協議会の設置を進めています。協議内容は、

- ・南足柄市との合併の検討に関すること
 - ・小田原市が中核市に移行する場合の影響
 - ・南足柄市をはじめ周辺自治体との広域的な連携体制の構築に関すること
- などが予定されています。

そこで市議会としてこれら協議に係る諸問題を調査するため「県西地域のあり方に関する調査特別委員会」を6月28日に設置しました。

■8/17に調査特別委員会を開催

当日の議題は以下の通り

報告事項

- ア 中心市のあり方に関する協議について
- イ 人口減少等の市財政への影響について
- ウ 広報、市民周知の実施状況
- エ 南足柄市の財政計画について

協議事項

- ア 今後のスケジュール(案)について
 - イ 予算編成(2016年度予算及び2017年度当初予算)について
 - ウ その他会合(講演会、意見交換会)の開催について
 - エ 2市協議会への参加依頼に係る委員選出
- 県西地域の中心市のあり方 → に関する調査特別委員会資料(8/17開催分)

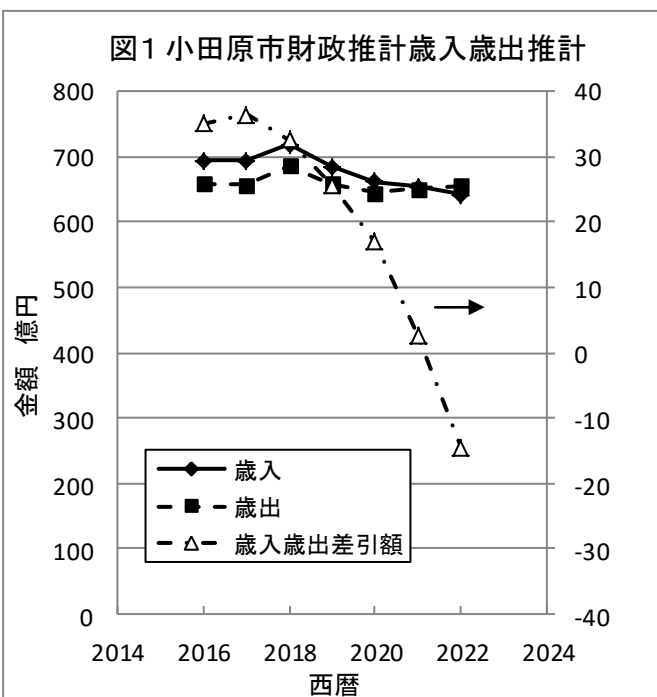


■調査特別委員会資料から

図1に小田原市の今後の財政推計を示します。推計に計上した事業は、お城通り再開発、漁港交流促進施設、焼却施設整備、斎場整備運営事業。

2022年度には収支が赤字に転じる。

裏面に続く



財政推計から

財政推計に含まれる大型事業は、お城通り再開発、漁港交流促進施設、焼却施設整備、斎場整備運営です。芸術文化創造センター整備、卸売市場建替え、市立病院建替え、公共施設長期保全、道路橋梁等維持修繕費用は含んでいません。

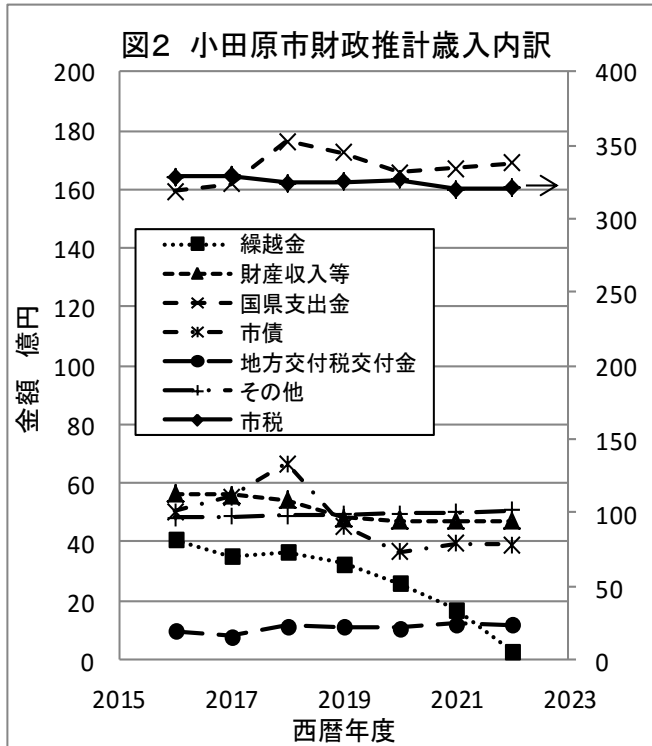


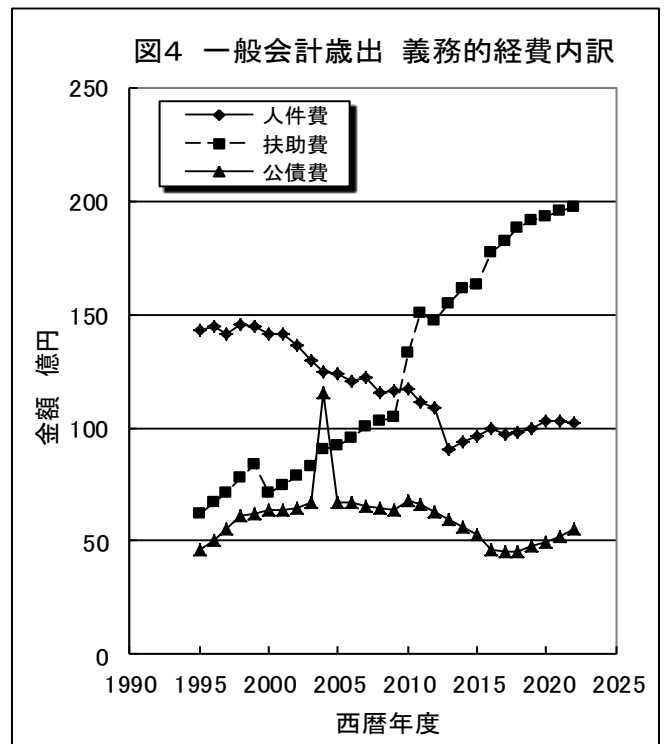
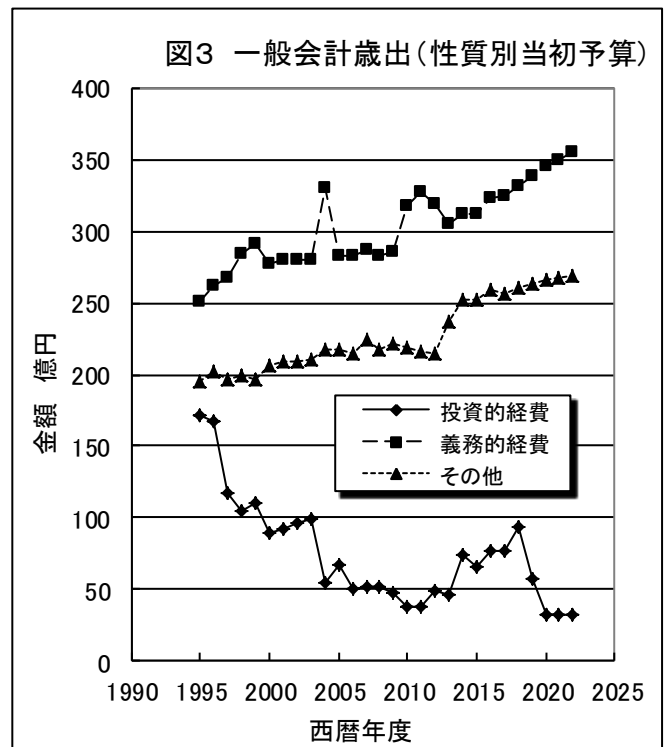
図2に財政推計の歳入内訳を示します。

歳入減の主な要因は、繰越金の減少です。これは財政に余裕がなくなってくることを意味し、独自の行政サービスの縮減や施設利用料等公共料金の値上げが必要となってきます。

図3は、歳出の性質別当初予算を示し、2016年度までは当初予算で、以降は財政推計によるものです。

図4は、図3の義務的経費の内訳を示しました。

図4より、**増加する義務的経費の要因は、扶助費**であり、**高齢者人口や生活保護世帯の増加等**によるものです。図にはありませんが、高齢者数は2025年以降に減少に転じる見込みですので扶助費の増加も頭打ちとなる予想です。



武松政策研究会からのお知らせ

9月の個人議会報告会および10月・11月の月刊武松発行配布は市外公務出張等により中止します。

5/3北條五代祭りにて →



HPは、「たけまつただし」で検索！ 月刊武松バックナンバー全て掲載しています。

twitter : @ttakemat

facebook : <https://www.facebook.com/tadashi.takematsu>

寄付は、ジャパンネットバンク 本店 普通口座 7941377 タケマツタダシ
さがみ信用金庫 国府津支店 普通口座 0051228 武松政策研究会 武松忠 まで